

◆全体総論ダイジェスト版

《研究主題》 3年計画の1年次

自立した学習者の育成 ～学びを深める授業の創造～

《研究の背景》

現在と未来の世界	スクールプラン	学校教育目標	4校園の共同研究	昨年度までの研究
<u>○VUCA</u> Volatility（変動性） Uncertainty（不確実性） Complexity（複雑性） Ambiguity（曖昧性） <u>○Society 5.0</u> Iot、AI、ビッグデータ、 ロボットの活用。	「個人の尊厳を重 んじ、多様な文化や 価値観を受け入れ、 自ら課題を見いだ し、解決に努力する 積極性・先見性・創 造性に富んだ子ど も」の育成を目指し た教育課程。	・学ぶことに誠実な 生徒 ・健康で情操豊かな 生徒 ・自らの可能性に積 極的に挑戦する 生徒 ・互いの良さを認め る生徒	・非認知能力の育成 に着目。中学校で は「GRIT」（＝粘 り強くやり遂げ る力）など。 ・「きりのほ」探究サ イクルを活用し た学びの中で育 成する。	・「主体的な学び」の プロセスモデル 実現を目指した 授業実践。 ・「主体的に学習に 取り組む態度」の 評価と授業改善 への活用方法な ど。

《生徒の実態》

R7 学びの調査を山梨大学田中健史朗准教授指導のもと実施

明らかとなった課題	課題に関わる生徒の実態
「学習内容を自身の興味価値と関連」	適切な課題設定ができていない？ 学習内容同士の関連づけが弱い？
「他者とともに行う学び」	自分一人で進める学びで完結している？ 他者と行う学びに必然性が感じられていない？
「グループとして問いを立てる」	
「学習するときに計画を立てる」	学びの方略が自分のものになりきっていない？
「学習するときに自分なりの問いを立てる」	

生徒の学びが深まり切っていないのではないかな？

本校における授業改善の視点（生徒の実態から）

主体的な学び	対話的な学び	深い学び
・興味関心を高める工夫 ・学習計画	・他者とも進める学び ・考えを広げ、深める	・「問い」を立てる ・課題を設定する



学びを深める
授業が必要

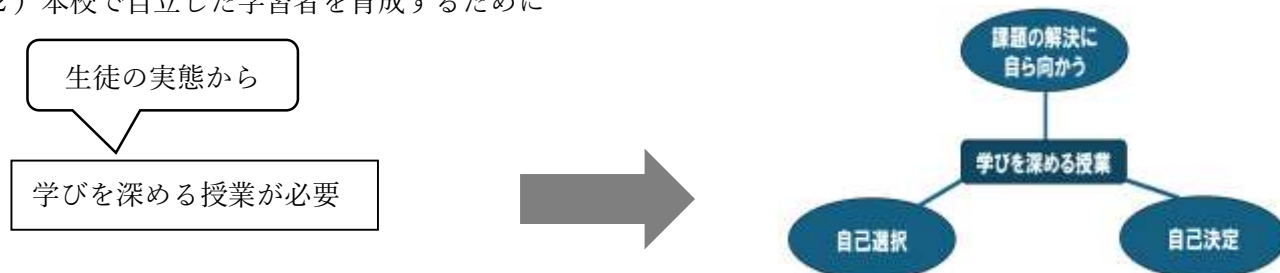
《研究主題・副主題》

(1) 自立した学習者とは

国の答申（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～）において述べられている育成を目指す学習者のこと。

(2) 本校で自立した学習者を育成するために

学びを深めるうえで必要と考える要素



学びの場面において、自己選択・自己決定を繰り返し、課題の解決に自ら進んで向かう者

《研究仮説》

学びを深める授業を各教科で考え、

実践することで、自立した学習者が育まれる

《研究内容について(1 年次)》

学びを深める授業を実現するための手立てを考える

学びの「場」を整えることに注目



主体的に学ぶ、内容に関連付ける、他者と学ぶ

学習者が効果的に学習できるような環境を作り出すこと

学びの場を整えること		具体的工夫
1	心理的安全性	失敗を恐れない雰囲気づくり、意見を尊重する文化
2	物理的環境	教室環境を整える
3	教育的資源	多様なメディアの活用、専門家からの学び
4	社会的相互作用	ペアワークやグループ学習（生徒同士）、多様な背景を持つ人々との交流 教師との対話

《3か年研究計画について》

1 年次	2 年次	3 年次
学びを深める授業を実現するための手立てを考える。	学びを深める授業の学習評価を明らかにする。	1, 2 年次の成果と課題を整理する。 自立した学習者を育むための授業実践の在り方を考える。